



輛の浦学園だより

No.13

2023年（令和5年）11月6日



学園生活でどっぷり探究したことが、自己表現の土台へとつながります

9年生全員と面接をしました。将来の夢や目標、輛の浦学園で頑張ったこと、進路に向けて頑張っている話を聞くことができました。

「義務教育学校の良さ」を質問すると、前期課程の時はお兄さん、お姉さん達がキラキラしていてかっこよく見えていたこと、9年生になった今は前期課程の児童が妹や弟のようにかわいく見えることを話しました。縦割り掃除や行事で一緒に活動できることが楽しいそうです。

また、委員会や部活動を頑張ったこと、輛学で探求に没頭したことなど自信を持って話し、個々の生徒の成長とたくましさを感じました。私自身が改めて義務教育学校の良さを実感した時間でした。2回目の面接では県立高校の入試で行われる自己表現をイメージして実施したいと思っています。



面接風景…どの生徒もしっかり受け答えができました！

9年生は輛学の最終発表に向け、これまで積み上げてきた探究活動の整理を行っています。プレゼンテーションの作成を行いながら、内容をまとめ発信する予定です。

ある生徒は、自ら作成した商品を展示するために常夜燈近くのギャラリーをお借りし、観光客に対し作品の展示会を行いました。「海のマイクロチップ」について調べた生徒は、観光客に分かりやすく説明していました。輛学で制作したデニムの着物や、輛をデザインした缶バッジの展示活動も好評でした。

6年生の児童は「輛の浦体操」をもっと広めたいと考え、平日の放課後や休日も輛の町に出て、自らボランティアガイドを行っています。そんな輛愛あふれる子ども達に触れられた観光客の方が、学校へ次のようなメールをくださいました。一部紹介します。

私は、10月19日(木)に、輛の浦に埼玉県より旅行で伺った者です。16時過ぎに常夜燈に伺った際、輛の浦学園の6年生、男の子2人女の子2人の4人の子ども達に出会いました。自主的に観光客に案内のボランティアをしているとのこと、とても詳しく説明してくれました。私達は感心してしまい、あれやこれやと伺いましたが、学校のこと、クラブのこと、自分達で作理理学療法士さんにアドバイスを貰って完成させた輛の浦体操のこと、福山琴の授業があることなど、生き生きと楽しそうに話してくれました。勿論宿に入った後、輛の浦体操のキューチューブを見せていただきました。

歴史のある街に生まれ、大事に生活し、誇りに思っている様子が感じられて、祖母の世代にあたる私達も喜びでいっぱいになりました。子ども達と出会ったことで、旅が一段と深く豊かになったように感じました。学校で習う事をしっかり自分達のものにしているように感じました。先日出会った子ども達には、正しく「子どもは未来の光」と感じさせて貰いました。

あらためて活動を支えてくださっている地域の方々に感謝いたします。これからも子ども達の探求心を育ててまいります。

～合同避難訓練～ 安全は、人のつながりの上に成り立つ



こども園から避難してきた園児を、安全な場所へ誘導しました。



津波を想定して各館の最上階へ。点呼もスムーズにできました。



避難所となる体育館では、防災を学ぶ4年生が受付を担当。



宮城県を視察した藤原教諭が、被災地の様子をプレゼンしました。

「みんなで減災」一斉地震防災訓練を実施しました。こども園と連携して合同避難を行いました。体育館では4年生が中心になって避難所を開設し、地域ごと（登校班）に避難確認を行いました。万が一の災害の際にスムーズに行動できるよう、試行錯誤を重ねて取り組む様子はとても頼もしかったです。いざという時に大切なもの。それは日頃から誰とでも声をかけ合い、支え合える「つながり」だということを感じました。



香港の大学生さんに、8年生が初めての英語ボランティアガイド！



特別支援学級による、わかめラーメン販売がいよいよ迫ってきました。皆さん買ってね！

教育講演会&フリー参観日 ありがとうございました！



講師、當山敦己さんのライフストーリーを通じて「性の多様性」について知り、誰もが安心して自分らしくいられる環境作りについて考えることができました！

～第2回学校運営協議会を実施しました～

授業参観後に協議を行いました。「開校から5年が経ち、改めて開校に向けた地域や保護者の願いを再確認し、学校経営を進めてほしい。」という意見をいただきました。協議会の詳細はホームページに掲載しております。



【トピックス】
幸せの丘で紅葉が見ごろです。いつでも学校にお越しください♪